



市場の賃料

首都圏：首都圏では、2007年の第3四半期をピークに5～20%という大幅な賃料の下落を記録した。しかし、経済の段階的な回復及び大規模倉庫スペースの不足により、人気都心エリアの内外では賃料水準が底を打ったと言える。これは、低下した賃料の活用及びコスト削減のための統合を行うテナントからの需要の増加の結果の一部である。昨年の新規需要は約600,000㎡であった。

名古屋圏：自動車産業の停滞により、名古屋は需要と賃料の下落において東京よりも5～10%厳しい結果となった。最近の輸出の回復により需要は回復したが、賃料の回復は2011年第2四半期後半までかかる可能性がある。

大阪圏：名古屋と同様、大阪も大阪・神戸両港の貨物量減少によって激しい打撃を受けた。大阪では、金融経済危機後東京よりも多くの倉庫建設プロジェクトが保留になったため、潜在的な需要から日本第2の都市である大阪での賃料の回復は適度に早いと考えられる。しかしこの回復は、ダイキン、シャープ、パナソニック、京セラといった大阪の主要な製造業者及びそれらの供給業者の業績次第である。

1坪＝3.306平方メートル
又は35.58平方フィート



賃料：2010年第4四半期の首都圏



賃料：2010年第4四半期の名古屋圏



賃料：2010年第4四半期の大阪圏



担当：楨谷 真生子
電話：03-5411-8336
メール：makitani@bearlogi.jp